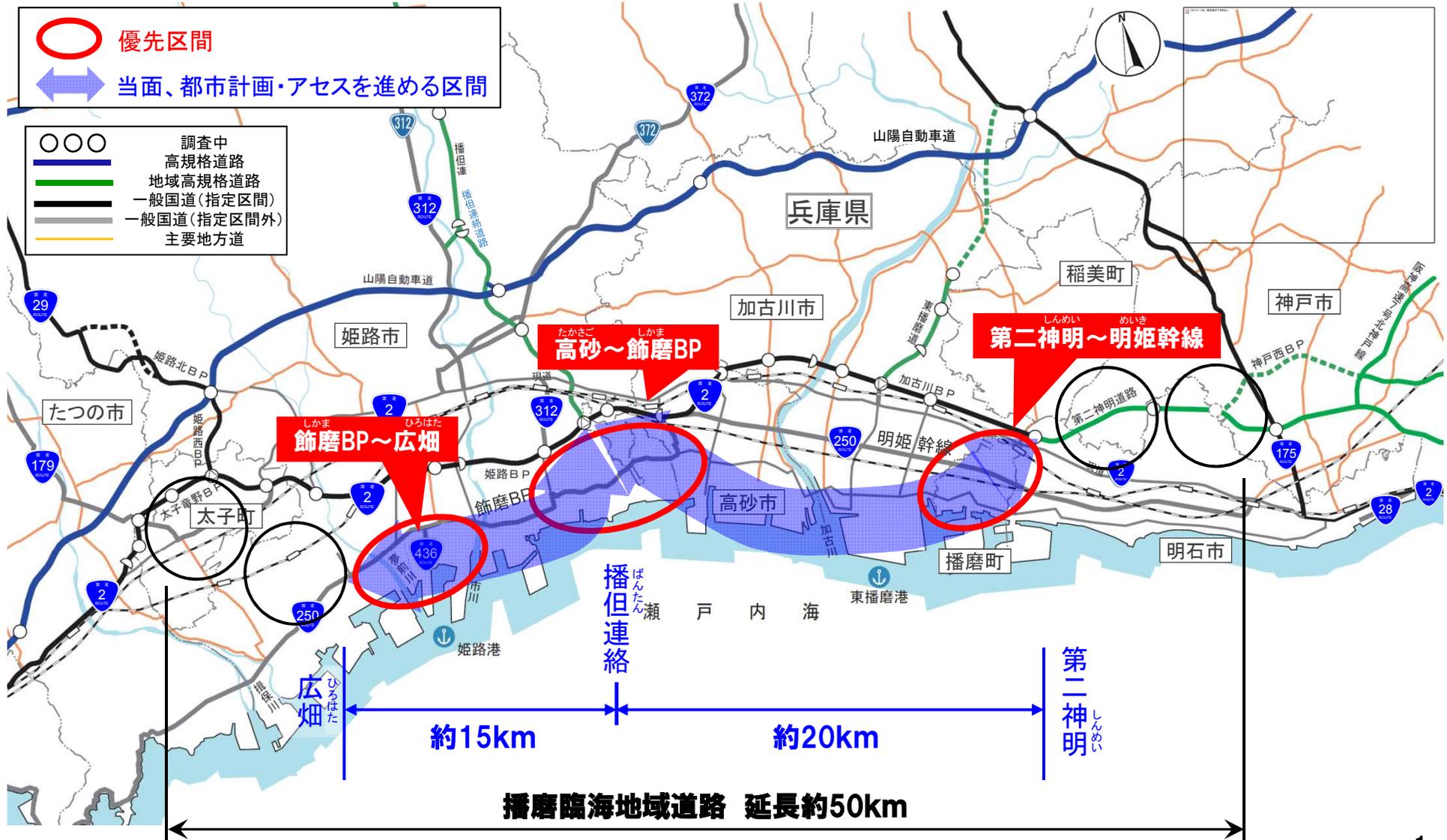


はり ま りん かい ち いき だい に しんめい ひろはた
播磨臨海地域道路 第二神明～広畑
計画段階評価
【参考資料】

平成30年 7月

1. 検討対象区間

- 近畿地方小委員会にて、地域の渋滞の状況や設定要因を鑑み、優先区間と都計アセス区間を設定。
- 都計アセス区間について、概略ルート・構造の検討(計画段階評価)を行う。



2. 意見聴取結果(意見聴取の概要)

○政策目標・留意事項の妥当性等を確認するため、オープンハウス・ヒアリングによる意見聴取を実施。

1. 意見聴取対象・回答方法

方法	実施場所	対象	回答方法
オープンハウス	SA・PA、鉄道駅、市役所・町役場	住民	記述式
ヒアリング	意見聴取対象の拠点等	播磨臨海地域の企業・団体、住民代表、関係自治体	記述式及びヒアリングによる聞き取り

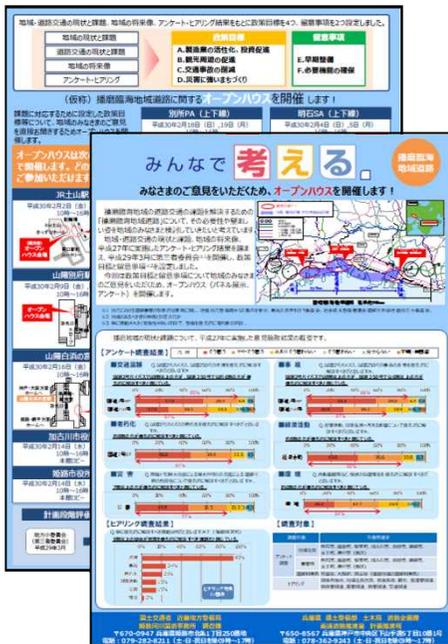
2. 意見聴取内容

方法	設問	回答型式
オープンハウス	性別、年齢、居住地(郵便番号)、自動車の運転頻度、運転目的、国道2号BPの利用頻度	選択、記述
オープンハウス・ヒアリング共通	設定した政策目標・留意事項の妥当性及びその理由	5肢択一、自由記述
	播磨臨海地域道路の有効性	5肢択一
	播磨臨海地域道路の整備ルート帯案を検討する上で、政策目標・留意事項以外で重視すべきこと	6肢選択(複数可)
	播磨臨海地域の課題に関する自由意見	自由記述
ヒアリング【関係自治体】	設定した政策目標と既存の行政計画との整合性	自由記述
ヒアリング【企業・団体】	企業活動に関すること(主な製造品、工場の稼働時間)	自由記述
	材料・製造品等の搬入・搬出に関すること(手段、台数・ルート、時間帯)	自由記述
	従業員の自動車通勤に関すること(台数・ルート、時間帯)	自由記述
	その他自由意見(具体的な交通課題、必要な道路の機能、道路整備に向けた協力等)	自由記述、聞き取り

2. 意見聴取結果(オープンハウスの広報)

○オープンハウスで幅広く意見聴取を実施するため、公共施設へのチラシ留め置き・ポスター掲示、新聞広告掲載、広報誌への掲載、事務所ホームページへの掲載等の広報活動を実施。

■ チラシ・ポスター



■ チラシ留め置き・ポスター掲示状況



■ 広報誌への掲載

(明石市・加古川市・高砂市・播磨町・姫路市)

【加古川市広報誌(2月号)】

**播磨臨海地域道路
オープンハウス**

神戸市西区から太子町を結ぶ延長約50kmの「播磨臨海地域道路」について、皆様のご意見を聞くため、オープンハウス(パネルの展示と意見聴取)を開催します。

会場▽2月9日(金)・10日(土)：山陽別府駅 ▽2月14日(水)・15日(木)：市役所市民ロビー ▽2月16日(金)・17日(土)：JR加古川駅 ※時間はいずれも午前10時～午後4時。

問 都市計画課 (☎427・9268)

※くわしくは県ホームページ「播磨臨海地域道路」で確認してください。

■ 記者発表資料

(姫路河川国道事務所HP等に掲載)

国土交通省 近畿地方整備局 Kinki Regional Development Bureau Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism	
近畿地方整備局 姫路河川国道事務所	配布日時 平成30年1月23日 14時00分
資料都市	
件名	播磨臨海地域の道路計画を進めるにあたり、オープンハウスでご意見をお聞かせ下さい。
概要	<p>○国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所においては、播磨臨海地域道路(第二神明～広畑)について「計画段階評価」を進めており、平成29年3月24日に近畿地方整備局で第19回目の「社会資本整備審議会 道路分科会 近畿地方委員会」が開催され、今後の進め方などについて審議されたところです。</p> <p>○これに伴い、国土交通省は、地域のみなま及び道路を利用されるみなさまのご意見を幅広く聴取し、道路計画に反映することを目的に、オープンハウスにご意見をお聞かせいただく場を開催し、「播磨臨海地域道路(第二神明～広畑)」を整備するための 政策目標や留意事項についての意見聴取を実施致します。</p>
取扱い	
配布場所	兵庫県政記者クラブ 神戸市政記者クラブ 東播磨市長官庁舎内記者室 中播磨市長官庁舎内記者室 西播磨市長官庁舎内記者室 北播磨市長官庁舎内記者室
問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所 課長 山下 義孝(内線 205) 課長補佐 野村 利雄(内線 491) 電話 079-282-8211(内線) FAX 079-282-8212(内線) Eメール http://www.kbr.eit.go.jp/index.php

■ 新聞広告(平成30年2月1日 読売・朝日・毎日・産経・神戸 各朝刊)

みんなで考える 播磨臨海地域道路

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑)は、国土交通省が平成27年度から平成30年度に実施する、重要な交通施設や交通手段の整備と一体的に実施するものです。さらに、道路整備における効率的な実施及び、周辺エリアの活性化や地域振興への効果的対策がとられています。

これらの道路整備の進捗について、平成27年度に地域の皆様(アンケート)の意見及びアンケート調査結果を踏まえ、その結果を踏まえ、播磨臨海地域道路の「計画段階評価」を進めていく中で、計画を進めるにあたり、地域の皆様のご意見を幅広く聴取することを目的にオープンハウス(パネル展示とスタッフの説明、アンケート)を開催しますので皆様のご意見を聴取させていただきます。

開催の日程は以下の通りです。開催の日程は以下の通りです。開催の日程は以下の通りです。

開催の日程は以下の通りです。開催の日程は以下の通りです。開催の日程は以下の通りです。

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 道路計画に関するご意見をお聞かせください!

オープンハウスは次の15会場で開催します。どの会場にもご参加いただけます。どうぞお気軽にお越しください。

第二神明道別府5A(上下線) 2/4日、5日	姫路バイパス別府A(上下線) 2/18日、19日	JR土山駅 2/2日、3日	JR姫路駅 2/12日、13日
JR加古川駅 2/16日、17日	山陽荒井駅 2/4日、5日	山陽別府駅 2/9日、10日	山陽飾通駅 2/12日、13日
山陽白浜の宮駅 2/16日、17日	山陽広畑駅 2/16日、17日	山陽大塚駅 2/18日、19日	高砂市役所 2/6日、7日
播磨町役場 2/6日、7日	加古川市役所 2/14日、15日	姫路市役所 2/14日、15日	開催時間 いずれも 10:00～16:00

意見聴取について
各会場で開催当日は当日参加用紙を配布いたしますのでご協力をお願いします。なおアンケート用紙は当日に回収させていただきます。

お問い合わせ
国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所 調査課
☎079-282-8504
(土・日・祝日は概ね9:00～17:00)

※道路の現状を見たい方は、道路情報ダイヤルへお問合せください。☎9910(無料)

2. 意見聴取結果(実施状況)

○オープンハウスを15箇所(1箇所あたり2日、のべ30日)で実施。

○商工会・商工会議所、企業・団体、関係自治体、住民代表等、85箇所へヒアリングを実施。

■オープンハウス実施状況

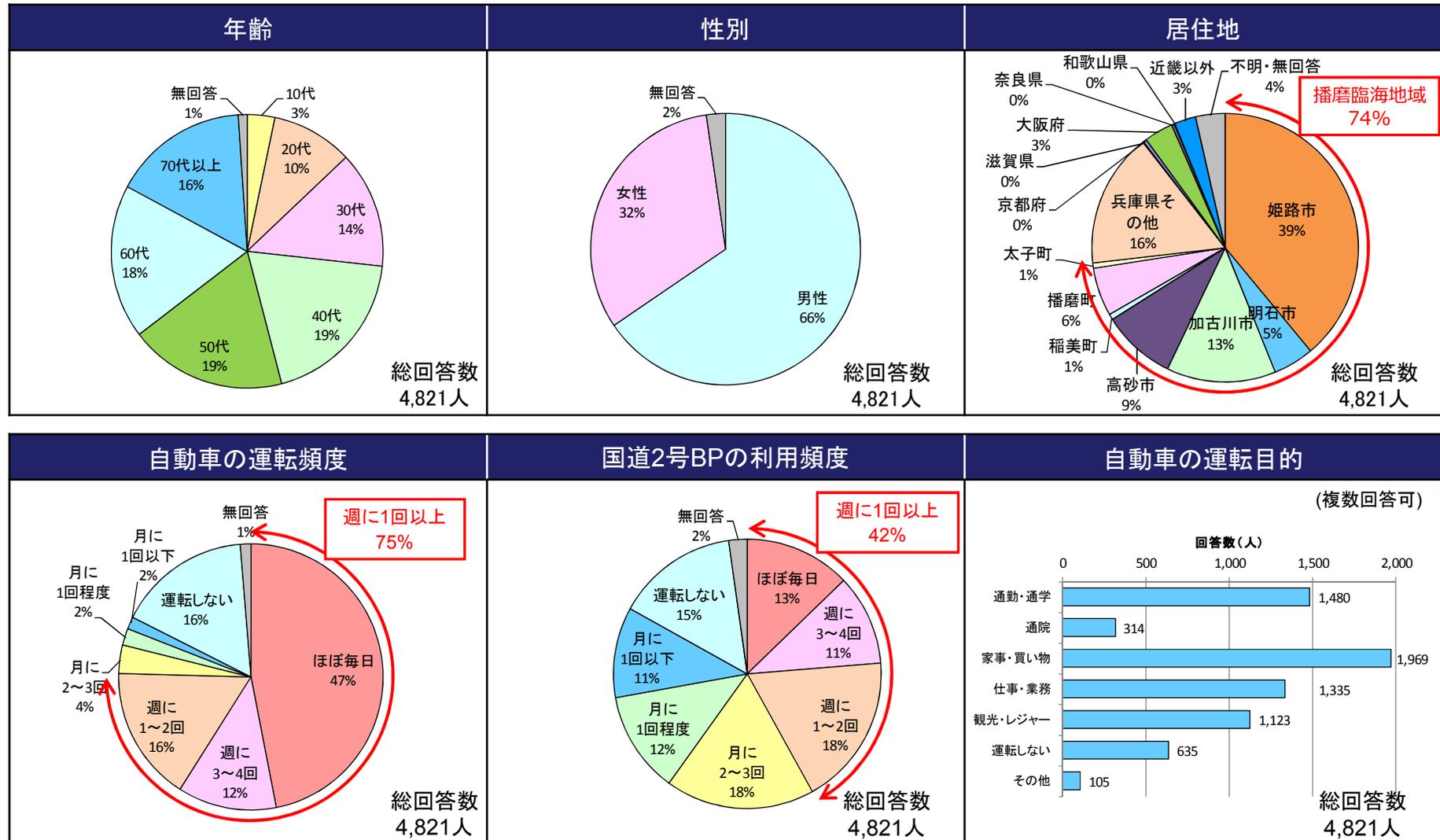


■ヒアリング実施状況



2. 意見聴取結果(オープンハウス回答者の属性)

- オープンハウスを15箇所(1箇所あたり2日、のべ30日)で開催し、4,821人から回答。
- 年齢別では20代が10%、30代~70代が20%程度となり、幅広い年齢層から回答。性別では男性が約7割、居住地別では播磨臨海地域が約7割。
- また、週に1回以上運転をする人が約8割、週に1回以上国道2号BPを利用する人が約4割。



2. 意見聴取結果(オープンハウス)

<自由意見>

○播磨臨海地域の課題に関する自由意見では、早期実現、道路の整備、渋滞に関する意見があった。

播磨臨海地域の課題に関してご意見がありましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

分類・件数	主な意見
早期実現について (316件)	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の土地利用や住民への影響をよく考慮した上で、早期開通を目指してほしい。(男性・20代) ・有料化事業になっても、早期に整備促進を図ってほしい。(男性・40代) ・必要とされる現状を踏まえて、暫定形式であっても早期の開通を目指してほしい。(男性・40代)
道路の整備について (164件)	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の専用道路で整備してほしい。(男性・50代) ・有料道路にして早期整備を進める。(男性・60代) ・南北アクセス道路の整備も必要。(男性・40代)
渋滞について (157件)	<ul style="list-style-type: none"> ・2号BPは特に渋滞が酷いため、スピード感のある対応をお願いしたい。(男性・20代) ・2号BPや国道250号など東西幹線が渋滞していて、通勤、物流、観光含めあらゆる経済活動に支障が出ている。(男性・30代) ・2号BPから工業地域までの区間において、大型車が通行する道路が限られることから、渋滞が多く発生している。(男性・40代)
地域や企業との協力について・ 地域や経済の活性化について (50件)	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備は、これまでの交通網に加えて、更に町の活性化が見込まれるものであることが望まれる。(男性・20代) ・道路整備と一体となったまちづくりを進めることで、生活道路の整備や、地域の防災力向上を図ってほしい。(60代・男性) ・臨海部企業の遊休地を道路用地として整備したらどうか。(性別・年齢不明)
環境・災害について (43件)	<ul style="list-style-type: none"> ・地震や水害等に強い道路を希望する。(男性・70代以上) ・地域の住民に建設中、迷惑の少ない方法で作って欲しい。(女性・50代)
産業・生活交通分離 (24件)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活道路に大型車(トレーラー・トラック)に規制をかけ、住み分けが必要。(女性・70代以上) ・臨海地域における、生活車両と生産流通車両との混在が著しい。(男性・50代)
その他 (20件)	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が減少する中で本当に必要なのか疑問があります。(男性・40代) ・新しい道路を作る前に、今の道路を有効活用すべき。(女性・40代)

2. 意見聴取結果(ヒアリング)

<自由意見>

- 播磨臨海地域の課題に関する自由意見やその他自由意見では、渋滞・事故、道路の整備に関する意見があった。
- 産業交通の分離、早期実現、播磨臨海地域道路の整備に向けた地域や企業との協力に関する意見もあった。

播磨臨海地域の課題に関してご意見がありましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

具体的な交通課題、必要な道路の機能、道路整備に向けた協力等、ご自由にお書きください。(自由記述、聞き取り)

分類・件数※	主な意見
渋滞・事故について(258件)	<ul style="list-style-type: none"> ・2号BPの渋滞が常態化しており、その解消のために播磨臨海地域道路が必要である。(商工会・商工会議所) ・近隣の一般道路は、通勤時間帯に車両が集中し、渋滞が発生する。(製造業・物流業)
道路の整備について(167件)	<ul style="list-style-type: none"> ・有料・無料の考え方を含めた検討が必要だと考えられる。(製造業・物流業) ・産業道路としての自動車専用道路が望ましい。(農業・漁業)
産業交通の分離について(63件)	<ul style="list-style-type: none"> ・産業車両と一般車両のすみわけが必要と考えられる。(農業・漁業) ・産業道路と生活道路の切り分けが不十分と感じている。(製造業・物流業)
早期実現について(61件)	<ul style="list-style-type: none"> ・産業を支える地域として、持続的発展にむけた早期の整備を望む。(製造業・物流業) ・2号BPや南北道路の渋滞、災害時のインフラのネットワーク不足等の諸問題の解決には不可欠な事業であり、早期完成が望まれる。(商工会・商工会議所)
地域や企業との協力について(61件)	<ul style="list-style-type: none"> ・既存工場敷地の売却や換地。(製造業・物流業) ・個別に提案をいただければ検討可能である。(製造業・物流業)
製造業の活性化・輸送の効率化について(60件)	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革等による拘束時間の制限やドライバー不足、高齢化といった問題を抱えているため、輸送の効率化は大きな課題である。(製造業・物流業) ・スムーズに移動できれば、阪神港方面への輸送の回転数が向上し輸送効率化が図れる。(製造業・物流業)
環境・災害について(43件)	<ul style="list-style-type: none"> ・BCPの観点からも、大規模災害時にネットワークが機能する道路としてほしい。(製造業・物流業)
設備投資・事業拡大について(12件)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本全国の産地からのさらなる集荷と播磨地域から近畿圏内への販売ルート拡大。(農業・漁業) ・播磨地域における倉庫が不足しており、輸送+保管設備を有する拠点整備を検討している。(製造業・物流業)

※ 記述式回答及びヒアリング時に発言のあった播磨臨海地域の課題に関する自由意見、その他自由意見を集計。

総延べ回答数:970件

3. 播磨臨海地域道路に必要な機能(意見聴取の結果)

<ルート帯案を検討する上で重視すべきこと>

- ルート帯案を検討する上で重視すべきことでは、地域住民、企業・団体とも「沿道環境への影響が少ない道路」や「生活道路に流入する車両の減少」の選択が多く、地域の生活・環境への影響を重視。
- また、「早く移動ができる道路」への関心が高い一方、「建設費用」に対しては比較的関心は低い。

今後、播磨臨海地域道路の整備ルート帯案を検討する上で、政策目標・留意事項以外で重視すべきことは何だと思えますか。

